

講演抄録

異業種経験者が挑む義歯製作工程の再構築

銀行で個人・法人向け金融業務に従事していた私が、伝統的な職人の世界に飛び込んで感じたカルチャーショックは想像以上でした。日付をまたぐ残業、職人の経験と勘に頼った作業、非効率な工程に直面し、幼少期から見ている光景ではありましたが、他業を経験してからあらためて見るその様子に「何とかしなければ」と強く感じました。

特に義歯製作工程の再構築には決意をもって臨みました。金属積層造形装置の導入では、初期投資の大きさと技術習得の困難さに直面しましたが、結果的に大幅な工程短縮を達成できました。しかし単なる設備導入だけでは成果は得られず、スタッフとの対話を重ね、品質管理体制の見直し、新規取引先の開拓まで一体的に進める必要がありました。

異業種から参入した立場だからこそ客観視できた業界の課題と可能性、そして金属 AM を活用した具体的な改善事例を、失敗体験も含めて率直にご紹介します。技工士資格を持たない経営者の視点が、皆様の今後の取り組みに何らかの参考になれば幸いです。

経歴

1986年	鳥取県倉吉市に生まれる	
2009年	下関市立大学	卒業
同年	鳥取銀行株式会社	入行
2016年	同行	退職
同年	有限会社倉繁歯科技工所	入社

兼職の状況

2021年	鳥取県よろず支援拠点	コーディネーター就任（現在は退任）
2024年	合同会社福ノ鳥	代表社員

講演者紹介

倉繁歯科技工所専務取締役。鳥取銀行にて個人資産運用、住宅ローン、法人融資業務を経験後、祖父の代から続く家業の歯科技工所経営に参画。金融業界で身につけた分析力を活かし、義歯製作工程の効率化と金属積層造形装置をはじめとするデジタル機器の導入を推進。国内主要歯科大学との新規取引開拓にも貢献、歯科技工士が持つ能力を活かし他業からの受注も獲得している。技工士資格は持たないが、経営者として未来を切り拓く取り組みを続けている。